

防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会 呉市庁舎 視察報告

日時：平成28年11月16日（水） 10：30～

場所：呉市役所

◆事業費・財源

- ・ 災害発生時に、「くれ絆ホール」を災害対策支援本部スペース、市民協働スペースを災害ボランティアセンターとして利用することとし、防災拠点として市民向けに利用する部分について国からの交付金を受けた。ホール等の事業費は約27億円で交付金は 約6億7千万円。
- ・ 庁舎建設事業費約167億円のうち61億円程度を呉市で負担。
- ・ 庁舎の落札額は約133億5,000万円。入札不調 2 回。資材と人件費の上昇に伴い、当初予定よりインフレスライドで約6億5千万円増額した。

◆防災会議室

- ・ 災害時は会議室としての使用で、自衛隊、警察等も含めた災害対策支援本部は別室に設置する。

◆市民窓口

- ・ 総合案内とフロアマネージャーを一括して外部委託。窓口フロアに来庁者が訪れると、フロアマネージャーが発券機のところで声を掛け、目的の窓口まで誘導する。
- ・ 毎年窓口アンケートを実施しているが、新庁舎建設後 満足度が 85% → 95%に。

◆セキュリティ

- ・ 入館には職員個人使用のICカードを使用。部屋ごとに入室可能な職員を区別（所属・性別）。異動による変更の作業が大変とのこと。

◆執務室

- ・ 執務机はすべて新規購入。机の規格や配置はすべて業者に計画してもらった。課ごとの島構成を廃止し、ユニバーサルレイアウトを採用した。
- ・ 異動の際は机の下に収まる保管庫（キャスター付き）1つを移動させるのみ。

◆文書管理

- ・ ファイリングシステムの導入により文書をかなり削減した。運用後も業者に調査を行ってもらっているが、厳しい指摘も多いとのこと。

◆議会スペース

- ・ 議場のレイアウトは議員からの要望により対面式とした（以前は円形）。
- ・ 当初は議場の椅子を可動式にし、他の目的での利用も検討していたが、議会との調整で

あくまで議場としての使用となった。

- ・ 傍聴席に親子室（ガラス張り）と車いす用スペースを設置。設計上の制約により車いす用のリフトを設置。
- ・ 議会図書室と市政資料室を兼用。市民の利用もあり。

◆食堂、売店、カフェ

- ・ 業者については食堂、売店、カフェの3つをあわせてプロポーザルにより選定。7社応募（3社辞退）で、地元の駅弁関係の業者が運営。14：00～17：00は食堂を市民に開放（学生の勉強等の使用もあり）していることもあり、賃料は厨房部分のみとしている。
- ・ 食堂は職員4割、市民6割の利用。周辺に飲食店が多いため、民業圧迫に配慮し、食堂は9Fに配置。

◆くれ絆ホール・シビックモール（1Fロビー）

- ・ ホールは約500名収容。あくまで市民利用を考えての設定。イベント使用時や災害時などの際は可動式の座席を収納し使用。

◆駐車場

- ・ 来庁者駐車場は現在整備中。平面で180台分（附置義務条例の台数）を予定。敷地地下にある旧地下駐車場は貯水槽として再利用する。
- ・ 職員駐車場はなし。議員駐車場もなしで、議員は来庁者駐車場に駐車しているが、特に場所の確保等はしていないとのこと。
- ・ 公用車駐車場は5,274㎡

◆その他（ハード）

- ・ 庁舎には1,067人、約27㎡/人。現在入っている部署は7割程度に抑えており、将来の人口減や職員減少を見込み、将来的に徐々に集約する予定。
- ・ 自家発電はガスタービンで72時間は業務継続可能で、市庁舎の4割程度をカバー。
- ・ 災害時の排水について、1,000人×1週間分の排水が可能なタンクを設置。
- ・ 各階に休憩室があり、電子レンジ、冷蔵庫を設置。1フロアのみ災害時の仮眠室とするために和室を設けている。
- ・ 低層階の女性トイレにはパウダールームを設置。
- ・ 喫煙室は屋上や屋外に数箇所設置。

◆その他（ソフト）

- ・ 市民からの意見により、自席での飲食は基本的に禁止（フタ付きの水筒等のみ許可。PCにかからないよう自席でのカップの使用も禁止）としている。

■平成26年11月16日 呉市役所 視察



1F シビックモール



1F 案内



1F 窓口



キッズスペース



議場



議会図書室 兼 市政資料室



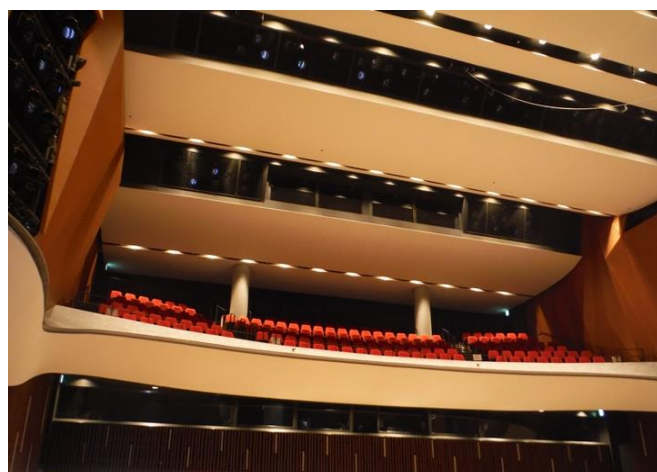
1F 協働センター
(災害時はボランティアセンターに)



2F 防災会議室



執務室



くれ絆ホール



収発



公用車駐車場